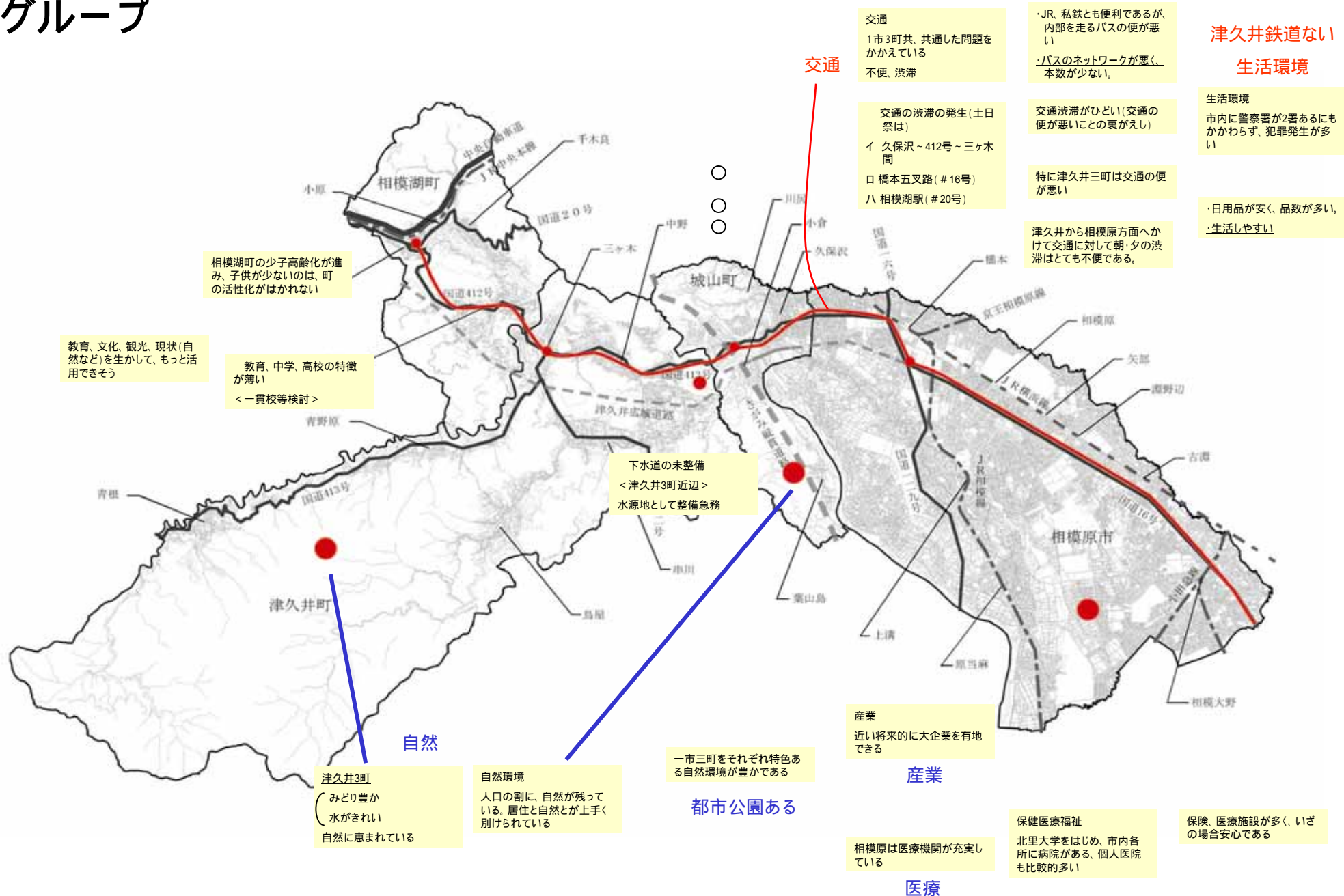


Aグループ



Aグループ

医療

- ・相模原
 - 大病院、個人病院多い
 - 人間ドック設備ある。補助ある

社会環境

- ・津久井
 - 少子化
 - 子ども人口減
- ・津久井
 - 自然を活用
- ・下水道未整備
 - 津久井

教育

- ・特徴ある学校ない
- ・自然を活かした教育

自然

- ・津久井
 - 広範囲な自然
- ・相模原
 - 都市型公園

交通

- 渋滞
 - 相模湖(R412、R413、R16)
 - ～相模原まで全部
- 鉄道
 - ・津久井に鉄道ない 車多い
 - 渋滞 バス便悪い
 - ・駅の場所のかたより

生活環境

- 相模原
 - ・大規模スーパー
 - 安く、品数多い
 - ・街道沿い
 - スーパー、店舗
- 相模原
 - ・犯罪が多い

Bグループ

産業、まちおこし

農地法の規制が厳しく土地利用ができない

相模原の地価が下がり、相模湖町から引っ越してしまう現状

自然を活かした産業があるとよい

過疎防止として、～
農用地(農地法、農振法)の網で規制されている土地の利用を考えること。～現在迄も過疎化した原因

まちおこし(地場産業)
観光資源の活用を中心にした

教育

教育・文化

<教育>
学校施設が老朽化している

住環境

(城山町)
ゴミ収集体制が整備されているので今後も維持してほしい

(住環境)
ゴミ問題に対する意識を高める(リサイクル等含め)

自然環境

豊かな自然(城山・相模湖・津久井)
緑多い山と湖、水源等は是非残していきたい

(環境)
豊かな自然と住民との共存

自然環境(都市公園)
観光資源としても

緑が多い住環境の中で生活したい

津久井の自然の保全していく
⇕
相反して不便さまでくる

相模原市の都市緑化

全般

安全な生活
治安
交通
医療 福祉

医療・福祉

医療・福祉(高齢者・保育)

(医療)
小児専門の病院や大きな総合病院がない
保健医療施設は充実していると思う

交通

交通(交通渋滞・騒音)
(自転車を活用したエコシティを創る)

交通～不便と観光産業にも役立つように橋本駅を起点に軌道で津久井地区方面に敷く。モノレール等。

(交通)
車社会のあり方を考えて交通渋滞の緩和と路線バス現象に対する取り組み

国道16号線の渋滞解消(交通)

渋滞

Cグループ

交通不便を解決する方法

- 1.道路の渋滞
- 2.通勤者の駐車場類
- 3.経済的負担が重い

道路拡巾も必要だが交差点改良を優先して渋滞解消を、橋の整備も。

交通渋滞

- ・相模湖駅前
- ・津久井日赤 - 久保沢 城山
- ・相模原16号の東部

相模原・津久井間の行き来がしづらい

相模湖へ行く人は中央高速を使う人もいる位

相模原の道路は主要なものほど渋滞している

さがみ縦貫道(インター)の活用

津久井広域道路をはじめアクセスの促進

国道の混雑

413、412、16

道路網が限られているので、渋滞の発生が慢性的

相模原の中央部に公共交通がない(少ない)

交通量が多く、大気汚染が心配。自動車に頼らない交通網や公共機関の整備

国道の自動車通勤(相模原-津久井)が大変

駅に駐車場が足りない

橋本以北にモノレール構想を

交通関係

まちが広すぎて住民の声が行政に届きにくい

水源水質

相模湖は日本最初の人造湖だが、観光地としては、中央高速の開通以来通過点になってしまった

水源地の規制がある

水源水質の保護と地域整備の発展を両立させなければならない

水源地は観光資源として大切である

自然が多くあるが整備されていない

水源がある
湖の利用ができない

自然環境
水源地なのに下水道が未整備

自然が豊かだが山林の材木の低迷により山が荒れている。将来問題

山林の荒廃(水源水質の保全)山林所有者は先祖代々の山林を相続しないとっている。



Dグループ

いかにするの？

自然に対する意識

津久井の住まい方を考える環境に優しい暮らし方をしないといけない

緑、清流、湖公園の自然を大切にしたい町づくり(街路樹も)

自然にめぐまれてるのに環境に対して意識が低い

自然を大切にする意識が低い

便利がいい！

412号
413号)の渋滞

交通渋滞のない道路づくり
16号～246号

交通渋滞が多い道が多い

道路
大きい道路があると生活圏も広がる

自動車中心社会
自動車がなければ暮らしていけない方が多い。その為大気汚染や渋滞等問題が多い

道路に(インフラ)にまだ未来あり

一市三町の一体性を高めるために公共交通網、道路網を整備する必要がある

道路・車

でも・・・

相模湖、津久井
自然を生かしたまちづくり

相模湖、津久井湖
水資源

自然の宝庫
水源がある

自然がやたらと多い

津久井の豊かな自然
相模湖の豊かな自然を守り育てなければいけない

+

自然

定年後のすばらしい歩み

自治会の活性化

住民の自治会参加を積極的にした住民による町づくり

おっ！

これから

少子高齢が進んでいる

財政難

産業の衰退がはなはだしい

危機！

とにかく広い
(地域による違い)

とにかくガン

大切！
でも活かしきれてない！

給食はなんとかしたいなあ

人口・教育の問題で、相模原と津久井3町の格差がある

格差

地域資源・課題について (第2回まちづくりの将来ビジョン検討委員会 グループ別討議・意見一覧表)

凡例 : 他市、町にまたがる意見
A~D: グループ名

分類	対象地域	相模原市		城山町		津久井町		相模湖町		全地域(または地域不特定)					
		意見		意見		意見		意見		意見					
社会環境	交通(鉄道、道路など)	交通ノ利便性など	C	相模原の道路は主要なほど渋滞している	A	特に津久井三町は交通の便が悪い	A	特に津久井三町は交通の便が悪い	A	特に津久井三町は交通の便が悪い	A	渋滞 相模湖(R412, R413, R16) - 相模原まで全部	C	交通渋滞 ・相模湖駅前 ・津久井日赤-久保沢 ・城山 ・相模原16号の東部	
			A									A	交通不便、渋滞 1市3町共、共通した問題をかかえている。	C	相模原・津久井間の行き来がしづらい 相模湖へ行く人は中央高速を使う人もいる位
			A									A	交通の渋滞の発生(土日祭日は) イ、久保沢-R412号-三ヶ木間 ロ、橋本五叉路(R16号) ハ、相模湖駅(R20号)	C	国道の自動車通勤(相模原-津久井)が大変
			A									A	津久井から相模原方面へかけて交通に対して朝・夕の渋滞はとても不便である。	C	国道の混雑 413, 412, 16
			A									A	交通渋滞がひどい(交通の便が悪いことの裏がえし)	C	道路網が限られているので、渋滞の発生が慢性的
			B									B	国道16号線の渋滞解消(交通)	C	さがみ縦貫道(インター)の活用 津久井広域道路をはじめアクセスの促進
	交通システム/道路整備など	C	相模原の中央部に公共交通がない(少ない)	B	交通-不便と観光産業にも役立つように橋本駅を起点に軌道で津久井地区方面に敷く。モノレール等。	B	交通-不便と観光産業にも役立つように橋本駅を起点に軌道で津久井地区方面に敷く。モノレール等。	B	交通-不便と観光産業にも役立つように橋本駅を起点に軌道で津久井地区方面に敷く。モノレール等。	A	JR、私鉄とも便利であるが、内部を走るバスの便が悪い	C	交通不便を解決する方法 1.道路の渋滞 2.通勤者の駐車場類 3.経済的負担が重い		
		D	交通渋滞のない道路づくり 16号-246号			A	津久井に鉄道ない 車多い			A	バスのネットワークが悪く、本数が少ない。	C	駅に駐車場が足りない		
										A	渋滞 バス便悪い	C	橋本以北にモノレール構想を		
										A	駅の場所のかたより	D	道路に(インフラ)にまだ未来あり		
										B	交通(交通渋滞・騒音) (自転車を活用したエコシティを創る)	D	一市三町の一体性を高めるために公共交通網、道路網を整備する必要がある		
										B	車社会のあり方を考えて交通渋滞の緩和と路線バス減少に対する取り組み	D	大きい道路があると生活圏も広がる		
大気汚染									C	交通量が多く、大気汚染が心配。自動車に頼らない交通網や公共機関の整備	D	自動車中心社会 自動車があれば暮らしていけない方が多い。その為大気汚染や渋滞等問題が多い			
人口減少/高齢化など			A	少子化 子ども人口減	A	少子化 子ども人口減	A	少子化 子ども人口減	D	少子高齢が進んでいる	D	人口・教育の問題で、相模原と津久井3町の格差がある			
	B	相模原の地価が下がり、相模湖町から引越してしまう現状			B	相模原の地価が下がり、相模湖町から引越してしまう現状			B	医療・福祉(高齢者・保育)	B	過疎防止として - 農用地(農地法、農振法)の網で 規制されている土地の利用を 考えること - 現在迄も過疎化した原因			
下水道整備など		A	下水道の未整備 <津久井3町近辺> 水源地として整備急售	A	下水道の未整備 <津久井3町近辺> 水源地として整備急售	A	下水道の未整備 <津久井3町近辺> 水源地として整備急售	A	下水道の未整備 <津久井3町近辺> 水源地として整備急售	C	水源地なのに下水道が未整備	C	水源水質の保護と地域整備の発展を両立させなければならない		
山林									C	山林の荒廃(水資源質の保全)山林所有者は先祖代々の山林を相続しないと云っている。	C	自然が豊かだが山林の材価の低迷により山が荒れている。将来問題			

生活環境	医療・福祉など	A	相模原は医療機関が充実している						A	保険、医療施設が多く、いざの場合安心である				
		A	北里大学をはじめ、市内各所に病院がある、個人医院も比較的多い						B	医療・福祉(高齢者・保育)				
		A	大病院、個人病院多い 人間ドック施設ある、補助ある						B	小児専門の病院や大きな総合病院がない 保健医療施設は充実していると思う				
	教育								A	特徴ある学校ない	B	学校施設が老朽化している		
									A	自然を活かした教育	D	人口・教育の問題で、相模原と津久井3町の格差がある		
									A	教育、中学、高校の特徴が薄い <一貫校など検討>	D	給食はなんとかしたいな		
									A	教育、文化、観光、現状(自然など)を生かして、もっと活用できそう				
買い物	A	大規模スーパー 安く、品数多い												
	A	街道沿い スーパー、店舗												
	A	日用品が安く、品数が多い、												
治安	A	市内に警察署が2署あるにもかかわらず、犯罪発生が多い												
	A	犯罪が多い												
自治会								D	自治会の活性化	D	住民の自治会参加を積極的にした住民による町づくり			
ゴミ			B	ゴミ収集体制が整備されているので今後も維持してほしい						B	ゴミ問題に対する意識を高める(リサイクル等含め)			
自然環境	自然・緑・水	保全	A	津久井3町 (みどり豊か 水がきれい 自然に恵まれている)	A	津久井3町 (みどり豊か 水がきれい 自然に恵まれている)	A	津久井3町 (みどり豊か 水がきれい 自然に恵まれている)	A	一市三町をそれぞれ特色ある自然環境が豊かである	B	緑が多い住環境の中で生活したい		
			A	広範囲な自然	A	広範囲な自然	A	広範囲な自然	D	自然がやたらと多い	D	自然を大切にする意識が低い		
			B	豊かな自然(城山・相模湖・津久井) 緑多い山と湖、水源等は是非残していきたい	B	豊かな自然(城山・相模湖・津久井) 緑多い山と湖、水源等は是非残していきたい	B	豊かな自然(城山・相模湖・津久井) 緑多い山と湖、水源等は是非残していきたい	D	自然にめぐまれてるのに環境に対して意識が低い	D	自然の宝庫 水源がある		
			D	津久井・相模湖の豊かな自然を守り育てなければいけない	D	津久井・相模湖の豊かな自然を守り育てなければいけない	D	津久井・相模湖の豊かな自然を守り育てなければいけない						
		活用	B	津久井の自然の保全していく 相反して不便さまでてる	B	津久井の自然の保全していく 相反して不便さまでてる	B	津久井の自然の保全していく 相反して不便さまでてる	B	自然環境 (都市公園) 観光資源としても	D	緑、清流、湖公園の自然を大切にしたい町づくり(街路樹も)		
			A	都市型公園	D	津久井の住まい方を考える 環境に優しい暮らし方をしないとイケない	D	津久井の住まい方を考える 環境に優しい暮らし方をしないとイケない	D	津久井の住まい方を考える 環境に優しい暮らし方をしないとイケない	B	豊かな自然と住民との共存	C	自然が多くあるが整備されていない
			B	相模原市の都市緑化	D	相模湖、津久井 自然を活かしたまちづくり	D	相模湖、津久井 自然を活かしたまちづくり	D	相模湖、津久井 自然を活かしたまちづくり	C	自然が豊かだが山林の材価の低迷により山が荒れている。将来問題	C	山林の荒廃(水源資質の保全)山林所有者は先祖代々の山林を相続しないと誓っている。
			A	自然を活用	A	自然を活用	A	自然を活用	B	自然を活かした産業があるとよい				
	水源	A	人口の割に、自然が残っている。居住と自然とが上手く別けられている											
		D	相模湖、津久井湖 水資源	D	相模湖、津久井湖 水資源	D	相模湖、津久井湖 水資源	C	水源がある湖の利用ができない	C	水源資質の保護と地域整備の発展を両立させなければならない			
									C	相模湖は日本最初の人造湖だが、観光地としては、中央高速の開通以来通過点になってしまった	C	水源地は観光資源として大切である	C	水源地の規制がある
その他	産業 まちおこし	A	近い将来的に大企業を誘致できる					C	相模湖は日本最初の人造湖だが、観光地としては、中央高速の開通以来通過点になってしまった	B	自然を活かした産業があるとよい	D	産業の衰退がはなはだしい	
										B	まちおこし(地場産業) -観光資源の活用を中心に-			
	農地や山林 など土地利用								C	自然が豊かだが山林の材価の低迷により山が荒れている。将来問題	B	過疎防止として -農用地(農地法、農振法)の網で 規制されている土地の利用を 考えること- 現在迄も過疎化した原因		
										B	農地法の規制が厳しく土地利用ができない			
その他	A	生活しやすい							C	まちが広すぎて住民の声が行政に届きにくい	D	とにかく広い(地域による違い)		
									D	定年後のすばらしい歩み	D	財政難		

生活環境

社会環境

交通など

- 交通渋滞がひどい
- ▶ 相模原の道路は主要なものほど渋滞している
- ▶ 特に津久井三町は交通の便が悪い
- 一市三町の一体性を高めるために公共交通網、道路網を整備する必要がある
- ▶ JR、私鉄とも便利であるが、内部を走るバスの便が悪い
- ▶ 駅に駐車場が足りない
- ▶ 駅の場所のかたより
- ▶ 橋本駅を起点に軌道(モノレール等)で津久井地区方面に敷く。

医療・福祉など

医療施設が多く、いざの場合安心である
小児専門の病院や大きな総合病院がない

治安など

相模原市内に警察署が2署あるにも関わらず、犯罪発生が多い

買い物など

大規模スーパーがある
日用品が安く、品数多い

自治会など

住民の自治会参加を積極的にした住民による町づくり

人口減少、少子高齢化など

少子高齢が進んでいる
相模原の地価が下がり、相模湖町から引っ越ししてしまう現状

人口・教育の問題で、相模原と津久井3町の格差がある

教育など

教育、中学、高校の特徴が薄い
学校施設が老朽化している
給食はなんとかしたいなぁ

まちが広すぎて住民の声が行政に届きにくい

下水道整備など

水源地的なのに下水道が未整備
▶ 水源地的として整備急務

水源水質の保護と地域整備の発展を両立させなければならない

産業など

自然を活かした産業があるとよい
農地法の規制が厳しく土地利用ができない

水源など

水源は観光資源として大切である
水源地的の規制がある
湖の利用ができない

ゴミなど

ゴミ収集体制が整備されているので今後も維持してほしい(城山町)
ゴミ問題に対する意識を高める

山林など

自然が豊かだが山が荒れている
▶ 山林所有者は、先祖代々の山林を相続しないと云っている
▶ 山林の材価の低迷

自然の保全と活用など

一市三町をそれぞれ特色ある自然環境が豊かである
▶ 津久井・相模湖の豊かな自然を守り育てなければいけない
▶ 自然にめぐまれてるのに環境に対して意識が低い
津久井の自然の保全していく

相反して不便さもでてくる
豊かな自然と住民との共存
自然を活かしたまちづくり

自然環境